

阿波尾鶏

こだわりコメント

県内で古くから飼育していた赤笹系軍鶏を改良した地鶏（阿波地鶏）をブロイラー専用種の雌系統（白色プリマスロック）に交雑して、作り出された肉用鶏が「阿波尾鶏」。

海部地域の豊かな自然環境のなか，80日以上かけ丹念に飼育しています。肉色はやや赤みを帯び，低脂肪で適度な歯ごたえがあり，甘みとコクがあるのが特徴。肉のうま味成分であるグルタミン酸等の含量が，他の鶏種に比べ多いのも「阿波尾鶏」の特徴です。

販売期間

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

阿波尾鶏とブロイラーの比較



項目	阿波尾鶏	ブロイラー
肉の色・味	赤みを帯びて美しく甘みとコクがあり，適度な歯ごたえ	薄いピンク淡泊で，柔らかい
飼育	体質は健康で暑熱・寒冷に強い	環境変化に弱い
生産重量	約3ヶ月で3kg	約2ヶ月で3kg
飼育期間	80日以上（年3回飼育）	約55日（年4.5～5回）
飼料要求率	2.6 2.7	2.0 2.1
坪当たりの飼育羽数	20～30羽	40～50羽
性格	やや気性が荒い	おとなしい

資料；徳島県阿波尾鶏ブランド確立対策協議会

販売方針

「地鶏」特定規格の基準を満たす地鶏の中で生産量が全国1位となり，日本のトップブランドに成長しています。また，全国に先駆けて地鶏JASマークを付け販売を開始するなど，高級鶏肉としての差別化商品を目指しています。

米

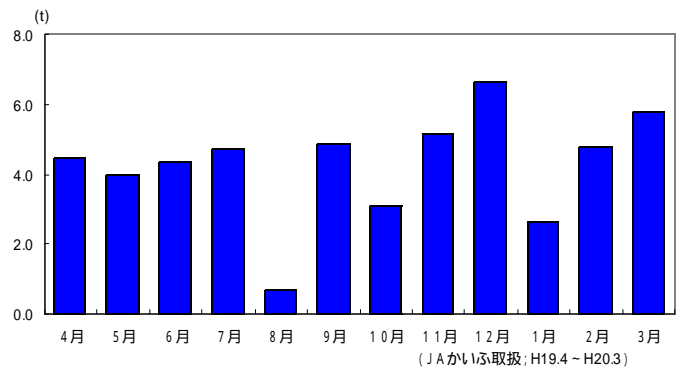
こだわりコメント

海部地域では早期米の産地。ハナエチゼン，コシヒカリ，キヌヒカリ，あわみのりが栽培され，8月から9月にかけて収穫されます。
海部地域の自然や清流を活かし良食味米生産に努め，「海部水明米」のブランドで販売しています。また，美波町では環境に配慮した米生産を目指し，エコファーマーが育てた米として「乙姫米」ブランドで販売しています。

販売期間

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

月別の販売量



主な栽培品種

コシヒカリ，キヌヒカリ，あわみのり

年間販売量

50 t (平成19年度実績)
資料; JAかいふ(海部水明米)

販売方針

海部地域の豊かな自然等環境に配慮した米づくりと良食味生産に努めます。消費者との交流を積極的に行うとともに，スーパーなどで手軽に購入できる体制を整備します。

エコファーマー

土づくりと化学肥料，化学農薬の使用の低減を一体的に行う「環境にやさしい農業」の実践者を指し，県知事に持続性の高い農業生産方式に関する「導入計画」が認定された農業者をいう。

きゅうり

こだわりコメント

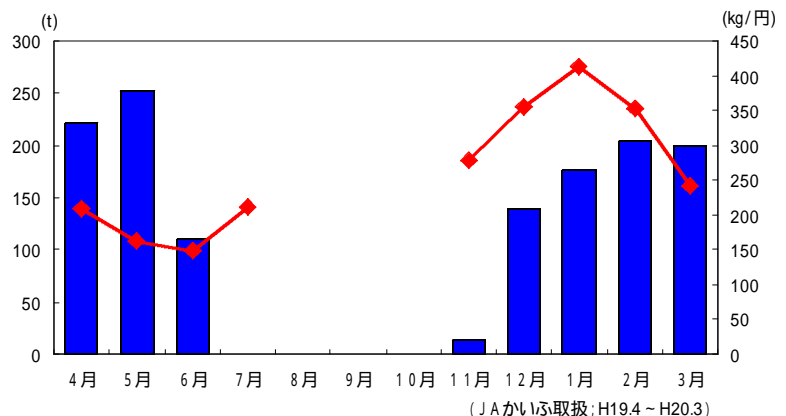
海部地域は12月から翌6月にかけて出荷されるハウス施設を利用した冬春きゅうりの栽培が盛んです。きゅうりのつるをロープにかけ、伸びると下ろす作業を繰り返しすることで、長期間安定した収穫が可能となっています。海部地域の温暖な気候は夏の作物というイメージがあるきゅうりの栽培に適しています。

出荷時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■						■					



月別の出荷量と販売単価



主な栽培品種

ワックス系品種
むげん、エテルノ、ZQ-7

年間出荷量

1,316 t (平成19年度実績)
JAかいふ取扱

販売方針

地産地消を促進することで、地域の方々にワックス系品種の味の良さと、きゅうり本来のシャキシャキ感が味わえる「新鮮」なきゅうりをお届けします。

ブロッコリー

こだわりコメント

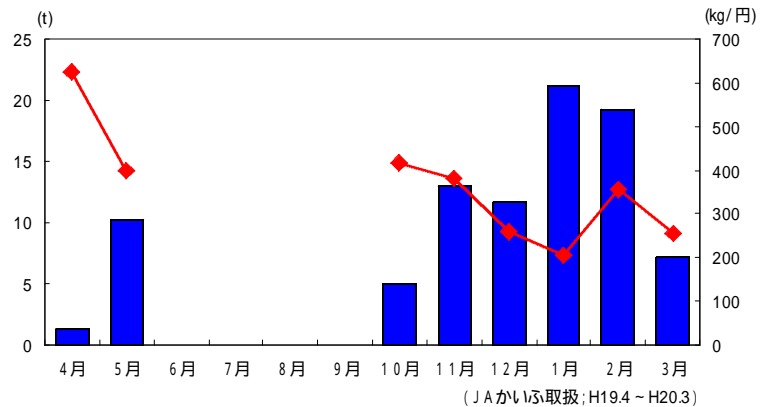
ブロッコリーは、花蕾の部分はもちろん、茎もゆでると甘みが出て全て味わうことが出来、ビタミンC、葉酸を多く含み、栄養価が高い食材です。海部地域では9月と2,3月に植え付け、11月から翌5月にかけて出荷される栽培が盛んです。

ブロッコリーは温度に敏感で、長時間温度が高い状態が続くと花蕾が開き、おいしさが失われるため、海部地域では全期間出荷箱に氷を詰め新鮮さを保っています。

出荷時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

月別の出荷量と販売単価



主な栽培品種

幸よし、ピクセル、
ゆめ624

年間出荷量

89 t (平成19年度実績)
J A かいふ取扱

販売方針

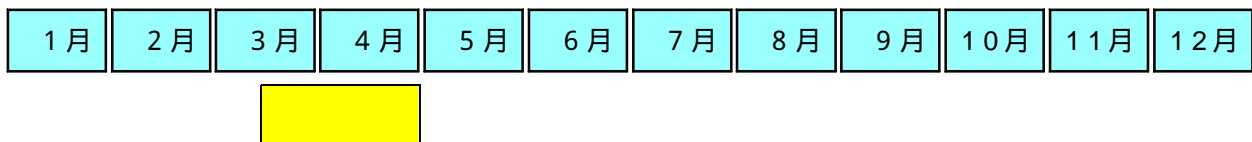
ブロッコリーは花蕾、茎とも全てが味わえる食材ですが、収穫した後段々と「おいしさ」が失われる食材です。出荷期間を通じて氷詰め出荷を徹底するとともに、地産地消を促進し朝採れたものが夕方の食卓にあがるよう、地産地消を促進します。

にんじん

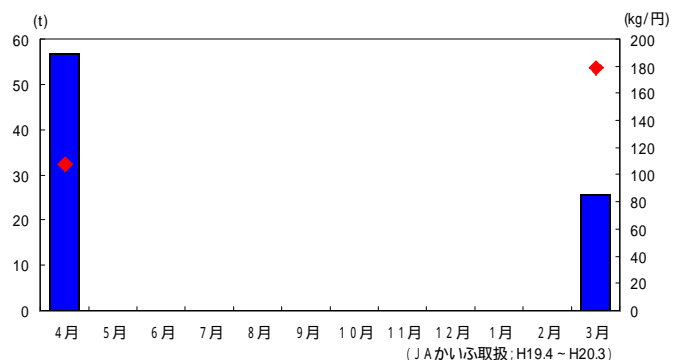
こだわりコメント

にんじんは、カロチンやビタミンAが多く含まれた健康野菜として人気があります。
4～5月にかけて出荷される春にんじんの出荷量は徳島県が全国一。
海部地域では3月中旬から4月にかけて出荷する早出し産地としてその地域を築いています。

出荷時期



月別の出荷量と販売単価



主な栽培品種

勝陽5寸, 彩誉

年間出荷量

82 t (平成19年度実績)
JAかいふ取扱

販売方針

にんじんの価値は色つやと甘みにあります。栽培ではほ場に支柱を設置し、ビニールを張りトンネル状にすることで温度を確保し、3月中旬からの出荷を可能にしています。安定的な出荷量を確保するとともに、生産履歴を積極的に提供する「全農安全安心システム」に取り組み、品質の良い春にんじんの供給に努めます。

オクラ

こだわりコメント

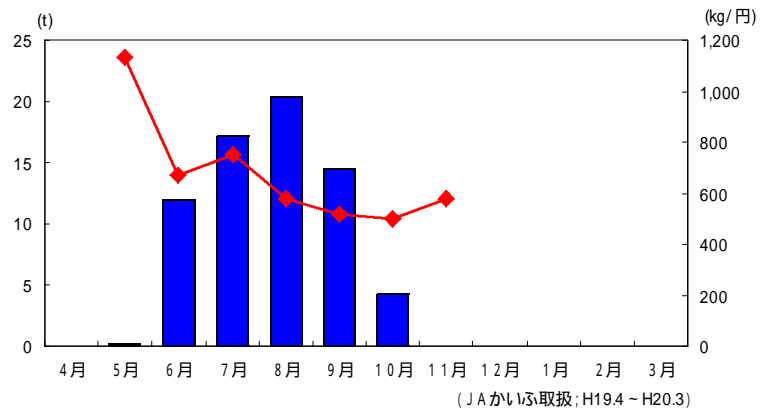
オクラは最近の健康志向のなかで、人気が出てきた夏野菜。海部地域では、にんじんで使う支柱などを利用することで、3月に種をまき、6月からの出荷が可能となっています。

出荷時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



月別の出荷量と販売単価



主な栽培品種

アーリーファイブ

年間出荷量

68 t (平成19年度実績)

JAかいふ取扱

販売方針

オクラは夏バテ防止の定番商品として人気のある食材ですが、オクラの旬は初夏から初秋。夏場の貴重な緑黄色野菜として、長期間、安定的な出荷に努めます。

なのはな

こだわりコメント

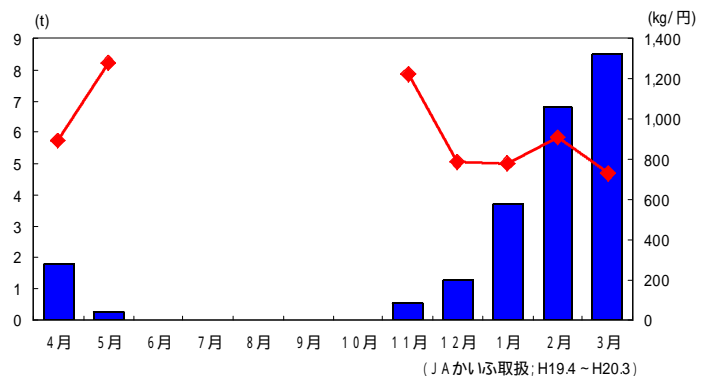
なのはなは、春を呼ぶ「季節商材」として利用される人気商材の一つ。カリウム、鉄、葉酸などを含み、独特のほろ苦さは、おひたしや和え物などによく合います。

海部地域では早生、晩生の品種を組み合わせるとともに、春どり作型を導入することで、11月から5月の間、長期出荷を可能としています。

出荷時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

月別の出荷量と販売単価



主な栽培品種

京の春、花飾り

年間出荷量

23 t (平成19年度実績)

JAかいふ取扱

販売方針

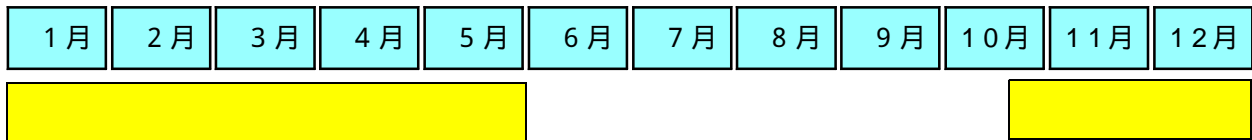
高齢者や女性などを中心とした生産者を確保し計画的な作付けを推進することで、11月から5月の間、安定的な出荷を目指します。また、家庭での料理への利用を促進するため、料理提案等を積極的に行い、PRに努めます。

ほうれんそう

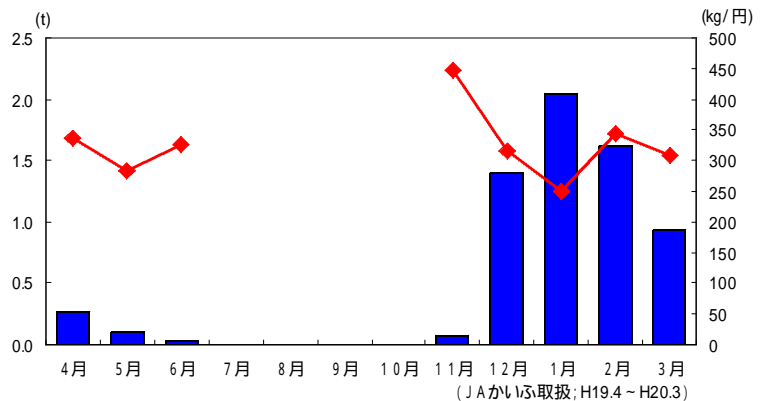
こだわりコメント

ほうれんそうは、鉄分を多く含み、その鉄分の吸収を助けるビタミンCが豊富な栄養価の高い野菜です。
海部地域のほうれんそうはビニールハウスのなかで栽培され、品質がよいのが特長。
出荷は品種を組み合わせることで、10月後半から6月にかけて行われます。

出荷時期



月別の出荷量と販売単価



主な栽培品種

パッカー, アスパイアー,
ビジョン

年間出荷量

6 t (平成19年度実績)
JAかいふ取扱

販売方針

ビニールハウスのなかで栽培することで、天候等の影響が少なく、安定的な出荷と品質の良いほうれんそうの供給に努めています。
また、エコファーマー認定を受けるなど、いち早く環境に配慮した農業生産技術の導入を図っています。

エコファーマー

土づくりと化学肥料、化学農薬の使用の低減を一体的に行う「環境にやさしい農業」の実践者を指し、県知事に持続性の高い農業生産方式に関する「導入計画」が認定された農業者をいう。

小ねぎ

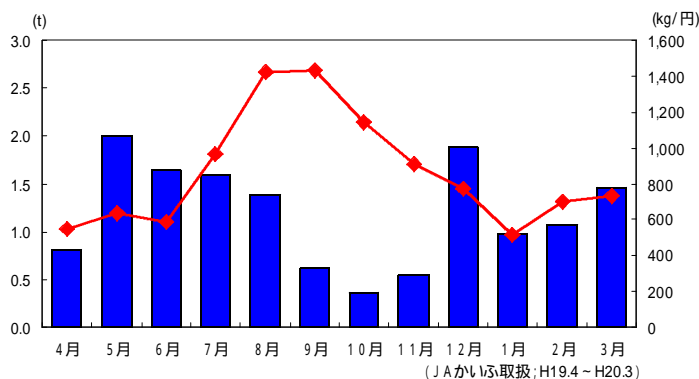
こだわりコメント

ねぎは、もともとは冬野菜ですが、めん類、豆腐などの薬味、汁の実など家庭消費のほか、外食産業においても安定して使われていることから、年間を通じて利用される品目です。
そのため、周年供給が不可欠であり、夏秋どり、冬春どりの作型にあった品種を用いて安定供給を図っています。

出荷時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

月別の出荷量と販売単価



主な栽培品種

大黒宝, ハウス夏ねぎ1号・2号

年間出荷量

14 t (平成19年度実績)

JAかいふ取扱

販売方針

海部地域ではビニールハウスのなかで栽培することで、周年を通じ高品質で安的なねぎの出荷に努めています。
生産面ではエコファーマー認定を受けるなど、いち早く環境に配慮した農業生産技術の導入を図っています。

エコファーマー

土づくりと化学肥料、化学農薬の使用の低減を一体的に行う「環境にやさしい農業」の実践者を指し、県知事に持続性の高い農業生産方式に関する「導入計画」が認定された農業者をいう。

その他農産物

海部地域における主な農産物の出荷時期

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
かぶ												
なす												
ししとう												
トマト												
ピーマン												
スイートコーン												
いちご												
みずな												
さといも												
みょうが												
たけのこ												
やまぶき												
たらのめ												
ジネンジョ												
ゆず												
すだち												